

東京大学公開講座
동경대학공개강좌

李潤澤の演技論

俳優の息_{배우의 숨}



2010年10月1日 (金) 15:00-17:00

会場：東京大学 法文2号館2階 文学部1番大教室 予約不要・参加自由

お問い合わせ：東京大学文化資源学研究室 電話：03-5841-3722 E-mail：bunka@l.u-tokyo.ac.jp

俳優の「息」と演技

배우의 숨과 연기

演劇においては、日常の向こう側にあるアイデアを追求及び表現することが可能です。そのためにはそれにふさわしいアイデア的な演劇様式も必要です。では、見えないアイデアの世界を具体的に表現するためにはどうすればいいでしょう？ また、人間の内面には整理されていない不穏性と野蛮性が潜んでいます。これは如何に表せるものでしょうか？

このような疑問に対する答えとして、現代アバンギャルド系と呼ばれる演出家達は、俳優の心理と身体を統合的に取り扱った演技表現の様式を追求してきました。それによって演劇における創造及び表現の範囲は拡大されたといえるでしょう。私もまた、俳優の心理と身体を統合的に活かした演技論を追及しています。それは即ち「息の演技論」です。

「息」は、呼吸の行為を行う主体の認識と並行して行うべく、俳優の心理と身体を統合する繋ぎとなります。

俳優の息の方向が内側へと向かえば、自分の内面を省察することができ、外側へと向かえば無限広大たる宇宙と交感することができます。ゆったりとした息に身を委ねれば、日常の時間がゆっくりと流れ、スピーディな息に身を委ねれば、俳優の身体が置かれている空間は満たされ、温まります。日常の空間だった舞台は、俳優が息を急激に変化させることによって、一瞬にして非日常的な空間へと転換されてしまいます。

このように俳優は、息を認識かつコントロールすることによって、日常と非日常の境界線を自由に出入りする事が出来ます。

이윤택



講師 李潤澤 イ・ユンテク

1952年、韓国釜山に生まれる。
1979年、詩人として文壇に登場。
1986年、演劇団コリペを旗揚げ。
韓国の現代演劇を代表する劇作家・演出家として活躍。
独特な演技メソッドを基盤にした演劇美学は世界的に評価が高く、日本やドイツなどで演技ワークショップが行われる。
代表的な作品に、『市民K』『オグ・死の儀式』『オモニ』『パボカクシ・愛の儀式』『マクベス』『ハムレット』がある。
俳優の演技に関する著作に、
『이윤택의 연기훈련(李潤澤の演技訓練)』(1996)、
『STT연기훈련법(STT演技訓練法)』(2001)、
『이윤택 연기론 '말과 몸'(李潤澤演技論-言葉と体)』(2003)

2010年10月1日(金)

15:00-17:00

逐次通訳つき・予約不要・参加自由

■ 主催：東京大学文化資源学研究室
次世代人文学開発センター

■ 後援：日本演出者協会
タイニイアリス NPO ARC

■ コーディネーター・通訳：金世一

■ お問い合わせ：東京大学文化資源学研究室
電話：03-5841-3722
E-mail：bunka@l.u-tokyo.ac.jp

■ 会場：東京大学 法文2号館2階 文学部1番大教室

国際演劇交流セミナー 2010 韓国特集
李潤澤ワークショップ

東京
9/28,29,30, 10/2,3
会場：芸能花伝舎

大阪
10/6,7,8,9
会場：スタジオ 315

主催：日本演出者協会 後援：タイニイアリス NPO ARC
お申し込み・お問い合わせ
日本演出者協会 国際部 TEL：03-5909-3074